

鍋倉山麓の自然環境保全と地域資源活用型観光の展開に関する連絡会

「いいやまブナの森倶楽部」

趣意書

鍋倉山麓の貴重な資源、ブナの森の100年計画
鍋倉山麓の自然環境保全と地域資源活用型観光の展開に関する連絡会

「いいやまブナの森倶楽部」設立の背景と主旨

鍋倉山の現状と今後の保全・利用について

鍋倉山には、日本国内でも貴重な原生の状態のブナ林が残されています。同時にこの森は、山麓に暮らす村人達の生活にも密接に関わってきました。貴重なブナ林のと共存した里山であり、ブナ（自然）と人（村）が非常に近いということがこなべくら高原の特徴の一つだと思われます。現在では、高速道や新幹線の開通により、県外からも多くの人たちがこのブナ林を訪れています。ブナの芽吹きの新緑の頃、秋の紅葉シーズンなどは連日マイカーや大型バスでの来客があり、また近年自然体験教育の一環として学童の入山も数を増しています。白神山地のような奥深いブナ林と違い、誰でも気軽にブナ林（自然）に触れることができるという点が、年々訪れる人が増えている要因の一つではないでしょうか。今後もさらに大勢の人がこの森を訪れ、観光資源としての可能性も大きくなっていくことでしょう。

1999年春、鍋倉山のシンボルであった「こぶブナ」が倒れました。そして今、ブナの巨木「森太郎」「森姫」がその危機に直面しています。その大きな要因の一つに「森太郎」「森姫」に集中して人々が訪れたために木の根本を踏み固めてしまったという事があげられます。人々が近づきやすい「森姫」は特にその影響を大きく受けて、季節はずれに落葉したり、キツツキに穴を開けられるようになってしまい、また枝先が枯れたりしてきています。あまりにも多くの方が鍋倉山にはいるため、原生の森は傷つき、元々整備のされていない山道は荒れ、自然にとっても、人間にとっても危険な状況にありました。また未整備の散策道を歩く道しるべとして、ペンキでブナの幹へのペイント（矢印）がされるという事例も発生しました。観光資源としてのブナの森の活用は飯山の今後の大きな柱になって行くでしょう。また、現状をふまえ、人々の生活に密接な関わりを持つ貴重な宝をどう保全していくのか、有効活用していくのかを討議し、関係各位の意思統一が早急に必要と感じています。100年後の鍋倉山麓のあり方をにらんだ「いいやまブナの森倶楽部」の設立に関し是非ご賛同賜れば幸いです。

主旨要点

ブナと人が築いた里山「なべくら」の再認識
地元の問題だけでない「全国区」のブナの森を考える
こぶブナが倒れた！自然からの警告を無視できない状況だ
人と自然の新しい関係・・・「飯山」が先駆者になりうる活動である
100年先の鍋倉を考えたい

鍋倉山の歴史

歴史文献によると、約200万年前以後、海底の地層に東西圧縮型の力がはたらき、しゅう曲や断層ができて陸地ができ、断層の切れ目から噴火が起こり、鍋倉山が形成された。陸化するとともに植物も茂り、動物も生活するようになった。

約1万年前以前の氷河時代には現在よりも8℃以上温度が低く、鍋倉山には寒さのためブナは育たず、常緑の針葉樹林が中心をしめていた。氷河時代が終わった約1万年前から暖かくなりつつあった鍋倉山へ、ブナは山のふもとから植生域を形成してきた。飯山平に人類が住みついてからはおよそ2万年、鍋倉山のブナ林の歴史はおよそ1万年である。

縄文時代・弥生時代から100年前までは、鍋倉山の原生林にはブナが多く、鬱蒼とした森が広がっていた。しかし、昭和10年代後半から40年代にかけて、ブナに対する知識や認識の不足から、船舶用材や薪炭用材あるいはパルプ用材として乱伐された。

1972年には、民間企業が鍋倉山麓のスキー場開発の意志を明らかにし、冬季気象観測を始め、地形などの基本調査を開始した。しかし、1977年に石油ショックを契機とした景気回復の遅れを主な理由として撤退した。また、1986年9月には鍋倉山国有林の伐採計画が長野営林局飯山営林署から計画発表された。（別添資料1：「鍋倉山麓伐採計画と反対運動の経緯」参照）この計画も、大きな反対運動が起きて中止となった。1990年には、スポーツ林としてのスキー場開発の計画が飯山市と民間企業とで持ち上がったが、1992年にバブル崩壊という経済事情のため撤退することとなった。

また、鍋倉山裾野の岡山地区では、国営農地開発事業として1983年から1995年までの12年かけて260㌦の農地が造成された。

農地造成と共に平成の時代に入り地域一帯を「なべくら高原」と呼ぶようになり、当会設立の趣意にもあるような観光地としての受け入れが行われるようになってきた。

事務局

一般社団法人 信州いいやま観光局 なべくら高原・森の家
〒389-2601
長野県飯山市なべくら高原 柄山なべくら高原・森の家内
TEL 0269-69-2888 FAX 0269-69-2288